

全日本ジュニアチャンピオンシップ、ジャパンアスリートカップ優勝!

全日本大会2冠を達成した佐々木ひかる選手(はるひ野道場)が新聞に掲載されました。

東京新聞 TODAY

特別号

東京新聞TODAY 東京新聞川崎東京会協力
〒210-0006 川崎区砂子1-1-14 JTB川崎共同ビル5F
TEL 044(245)5884(編集) 044(245)5881(広告)
年4回川崎市内の東京新聞に折り込み配布

かわさきスポーツ

5月19日(金) 2023年(令和5年) <第99号>

東京中日スポーツ

の購読申し込みは

☎0120-026-999

東京新聞 T O D A Y かわさきスポーツ

2023年(令和5年)5月19日(金曜日)

[2]

川崎市内のジュニア

空手選手が大活躍

川崎市内在住の若手空手選手加藤鳳成選手と佐々木ひかる選手が好成績をあげ、それぞれ市役所を訪れ、福田紀彦市長に結果報告をした。

加藤鳳成選手 優勝

川崎市内在住の加藤鳳成さん(現在川崎中学1年)

は昨年11月19日、東京体育館で2022国際親善蹴りが決まり、技ありで空手道選手権大会「11歳男子マイナス40キ級」(32人出場)で優勝した。んは、「みんな強かった。

同大会は他地域の選手間交流を目的に開催されている直接打撃制(フルコンタクト)。

準決勝の相手は、今まで自分も負け越している有名な強い選手。何度も試合を見ていたので得意技や戦い方などは分かっていた。その選手に勝てたので自信を持って決勝にのぞめた。勝因は応援と練習を頑張ったから」と話し、福田市長らに技も披露した。



金メダルをかけた加藤選手。市役所で

佐々木ひかる選手が優勝

麻生区在住の佐々木ひかるさん(現在白鳥中学1年)は昨年12月18日に愛知県スカイホール豊田に出場。どちらも「小学メインアリーナ」での第10回全日本ジュニアチャンピオンシップ(以下全日本)と、今年1月29日に大阪エディオンアリーナの予選を勝ち抜いた約

1370人が、W・K・Oには約870人が参加していた。



全日本のトロフィーを持ち、W・K・Oのベルトを肩に掛けた佐々木選手。市役所で

市役所を訪れた佐々木さんは、「週に5日は道場で練習し、好き嫌いな食べ物、夜更かししないようにしている」と普段の生活を明かし「全日本は4年生で優勝、5年生でベスト8。今回の決勝の相手は昨年のチャンピオン。自分より大きくて強いのでとても緊張した。延長戦にもなり体力も限界だった。自分の旗が上がった時は言葉にならない気持ちに。今年もどちらの大会も出場し2連覇を目指す」と活躍を誓った。